

パターンⅢ【部門別配賦表（相互配賦法）の作成・元帳の記入】

C工場は実際個別原価計算を採用し、製造間接費の計算は部門別計算を用いている。製造部門費の配賦には直接作業時間を用いている。次の【資料】にもとづいて、下記の問に答えなさい。

【資料】

1. 部門費年間予算および補助部門費の配賦基準

(単位：円)

配賦基準	製造部門		補助部門		
	組立部門	切削部門	修繕部門	事務部門	材料倉庫部門
従業員数	120人	100人	40人	30人	20人
修繕時間	1,600時間	1,400時間	—	—	300時間
材料運搬回数	1,800回	1,500回	900回	—	—

2. 組立部門の年間予定直接作業時間

組立部門 109,500時間 切削部門 100,000時間

3. 当月の実際直接作業時間

組立部門 9,000時間 切削部門 8,200時間

問1 補助部門費を第1次配賦は相互配賦法、第2次配賦は直接配賦法によって製造部門に配賦し、答案用紙の年間予算部門別配賦表を作成しなさい。なお、【資料】から適切なデータのみ選んで使用すること。

年 間 予 算 部 門 別 配 賦 表

(単位：円)

費目	合計	製造部門		補助部門		
		組立部門	切削部門	修繕部門	工場事務部門	材料倉庫部門
部門費	79,650,000	28,604,000	22,876,000	12,210,000	7,560,000	8,400,000
第1次配賦						
修繕部門費						
工場事務部門費						
材料倉庫部門費						
第2次配賦						
修繕部門費						
工場事務部門費						
材料倉庫部門費						
製造部門費						

問2 問1の計算結果をもとに、組立部門費および切削部門費の予定配賦率を計算し、答案用紙の製造間接費勘定（組立部門・切削部門）の（ ）内に適切な数字を記入しなさい。

組立部門の予定配賦率 円／時間

切削部門の予定配賦率 円／時間

製造間接費（組立部門）		（単位：円）	
実 際 発 生 額	3,723,000	予 定 配 賦 額	()
製造間接費配賦差異	()	製造間接費配賦差異	()
<hr/>		<hr/>	

製造間接費（切削部門）		（単位：円）	
実 際 発 生 額	2,925,500	予 定 配 賦 額	()
製造間接費配賦差異	()	製造間接費配賦差異	()
<hr/>		<hr/>	

※製造間接費配賦差異は、それぞれ借方・貸方のどちらか一方に記入すること。